

第13回 会員向け研修会 開催報告

6月28日(日)に東京都のTKP上野ビジネスセンターにおいて、第13回会員のための研修会を開催しました。早稲田大学文学部教授の森山卓郎先生による講演会に、140名の方がご参加くださいました。

講演の部 要旨

漢字の奥にある 「言葉の仕組み」を探る

教授 早稲田大学文学部
森山卓郎 先生



中国で生まれた漢字が日本語に取り入れられる際、さまざまなルールを含みこんで発展してきました。漢字の奥にはどのような言葉の仕組みがあるのでしょうか。

漢字の音読みは複数あり、それは日本に伝わってきた時代が違ったから、というのは皆さんご存じかと思いますが

日本語では、読み方によってその意味を使い分けられるということがなされる場合があります。「人」という漢字は、呉音で「ニン」、漢音で「ジン」と読みます。1字の漢字に「人(ニン)」がつくのは、「当人」といった「その人」を表す用法の時、「十人」のように数詞として用いる時、そして「仙人」のような、仏教の影響を受けた古い言葉を表す場合です。二字漢語に「人(ニン)」がつくのは、「代理人」など、動きをする人という意味です。一方「ジン」は、「奇人」「唐人」「日本人」のように、性質や所属を表す場合に用いられます。同様に「何」の「なん」「なに」にも意味による読み分けがあり、内容を問う場合は「なに」、数字の場合は「なん」です。通りの名前を問う時は「何通り」、いくつの方法があるかを数える時は「何通り」と言いますよね。

助数詞も、「一軒」「二軒」「三軒」のように読み方が変わるものがあります。「分」「階」「本」などについても同様です。「三」のように直前が「ン」で終わる場合は「さんげん」と濁音化しやすく、「二」「六」「八」「十」の後につく場合は「いつけん」と促音化しやすいくという特徴があり

ます。このように読み方が変わるのは、発音のしくみや、入声音と言われる漢字が伝わった当時の中国での発音の影響があるからです。

漢字で書かれた熟語であっても、発音を詳しく考えてみると、間に発音上の「間(ま)」を作る場合があります。これはその語の意味にも関わっています。例えば「新政府軍」は「新政府/軍」と読みますか、「新/政府軍」と読みますか？ポーズの場所により、意味が変わってしまいます。「非文化的」は「文化的」という語全体を「非」が打ち消していますので、「非/文化的」と分けて読み、「非常口」はそれで一つの言葉になっているため、続けて読みます。「入学試験問題」が発音上「間」を作らずともすんなり読めるのは、「入学の試験の問題」というように、読む順番どおりに意味がまとまっていくからです。これに対して、例えば「第一次世界大戦」は「世界大戦」とポーズをとって読みます。このように、漢語にも「表現としての構成」があり、読み方には、そのまとまり方を反映する場合があります。

さらに意味の問題を考えてみましょう。日本語には、漢語としてまとまると意味が変わってしまう語もあります。「頭痛」と「頭の痛み」では何が違うのでしょうか。前者は頭の中からの痛みに限定されるのに対し、後者は頭をぶつけたときの痛みも含まれます。このように漢語として「まとまった語」になると、意味もまとまって特殊化、限定化します。「白壁」「深海」「洗顔」もそれにあたります。

日本語は同じ発音での漢字の書き分けがたいへん多いと言われます。例えば「ひく」という漢字は「引く」「弾く」「挽く」など多くの漢字が当てはまります。漢字では別の言葉のように書き分けられますが、日本語の「ひく」そのものは、元来一つの概念だったと考えられます。それは例えば「水平方向に移動させる、自分の側に向ける」といったものです。もともと日本語として一つの概念であっても、中国の漢字との対応によって、違う漢字で書き分けられます。そういった背景を考えると、「線を引く」「綱を引く」はもちろん、「心が惹かれる」「自動車で轆く」「豆を挽く」「ギターを弾く」も、根底に流れる概念が共通していることが分かります。

こうして中国から伝わった漢字は、中国語での特質を残していたり、日本語として読み方や発音を使い分けたりし、豊かに発展してきました。「こうないのとくりくみははやくかえるように」ととめることですという一文でも、構内、校内、港内、取り組み、取組、取組み、早く、速く、帰る、変える…のように、800通り以上に書けます。日本語は、多様な表現ができるからこそ難しく、面白いのではないのでしょうか。

第13回 会員向け研修会 開催報告

会員発表の部 要旨

漢字でまちづくりにチャレンジ！

― 福島県喜多方市の事例紹介 ―



中村 例さん

福島県喜多方市は、これまでラーメンや蔵で有名な町でしたが、2011年頃から漢字を観光資源にするという取り組みを行っています。そこで私も、実際に喜多方市へ足を運び、「漢字のまち」を体験してきました。

取り組みの一環である「ミステリーウォーク」は、観光案内所で渡される地図を見て指定された場所に行き、そこに掲げられた「古代文字の看板」の現在の漢字を記入していくという、「謎解き」要素の加わった街歩きツアーです。古代文字の看板は市内に200以上点在しています。「篆篆工房」では古代文字の印字制作体験ができます。そのほかにも創作漢字コンテストを主催しており、毎回含蓄のある創作漢字が多く寄せられています。

さて、他の地域でも漢字は観光資源になりうるのでしょうか。そもそも、喜多方市と漢字は歴史的に深い関わりがあった訳ではありません。東日本大震災の後に激減した観光客を呼び戻し、商店街の活気を取り戻すことを目的に始められた事業でした。

しかし漢字は日本人であれば誰でも知っていますし、外国人に対しては日本の文化として人気があります。また漢字の看板や商品はこの町や地域にも違和感なく溶け込むことができるため、漢字は人を惹きつける有益な資源となりうると感じました。

そして、何より素晴らしいのは、喜多方市民の多大な支援と協力があったことでした。土産物店では、漢字の由来を楽しそうに語る店長に出会い、心を打たれました。今、喜多方市のこの取り組みは、全国的にも注目を集めています。歴史ある漢字と市民の協力が結びつき、達成することができた好事例といえるでしょう。



漢字同好会
からのお知らせ

全国の漢字同好会の情報は、漢検ホームページからもご覧いただけます。
<http://www.kanken.or.jp/project/edification/associations.html>

北海道漢字同好会

漢遊会

日時 ● 平成27年9月19日(土) 13時～16時
場所 ● かでる2・7(920号室)
(札幌市中央区北2条西7丁目)

内容 ● 未定

漢字塾

日時 ● 平成27年10月17日(土) 13時～16時
場所 ● かでる2・7(710号室)
(札幌市中央区北2条西7丁目)

内容 ● 1級・準1級・2級の三つのグループに分かれて勉強します。漢検対策がおもな内容です。

参加費 ● 無料

申込方法 ● 初めて参加される方は前日までに電話でお申し込みください。

お問い合わせ ● 北海道漢字同好会 事務局

TEL/FAX 011-6911-5123

Eメール kanj10764@nifty.com

設立20周年記念特別講演会

日時 ● 平成27年10月4日(日) 15時～17時
場所 ● かでる2・7(820号室)
(札幌市中央区北2条西7丁目)

演題 ● 「陶淵明の人と詩」

講師 ● 石川忠久氏

参加費 ● 無料

申込方法 ● 〒住所・氏名・年齢・電話番号を記入のうえ往復ハガキで下記宛にお申し込みください。返信用を聴講券としてお送りいたします。先着100名様まで。

申込締切日 ● 平成27年9月10日(木)

聴講者・発表者募集

第14回

漢検生涯学習ネットワーク
会員向け研修会

- 日時 ● 平成27年9月13日(日) 13時30分～16時30分(13時00分 受付開始)
 場所 ● 仙台駅前貸会議室(宮城県仙台市青葉区中央1丁目10番1号)
 アクセス ● 仙台駅より徒歩1分
 参加費 ● 無料
 プログラム ● 講演 大木 一夫 氏(東北大学大学院文学研究科 准教授)

テーマ『漢字・漢文に出会った日本語』

プロフィール

1966年長野県生まれ。東北大学文学部卒業、東北大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。東北大学文学部助手、埼玉大学教育学部助教授などを経て、現在、東北大学大学院文学研究科准教授。専門は日本語学、なかでも日本語の歴史、日本語文法の研究をすすめている。著書に『ガイドブック日本語史』(ひつじ書房、2013)、『山田文法の現代的意義』(ひつじ書房、2010)がある。

講演概要

日本語は古くから漢文(中国語)と漢字に出会い、そこから大きな影響を受けていることはよく知られています。文字のなかった日本語は、それを書き表す文字として漢字を借用しましたし、「読書」「文学」などは漢文から借用した単語です。ひらがな・カタカナも漢字をもとにした文字ですから、やはり漢字の影響とってよいでしょう。これら以外にも、漢字・漢文が日本語に与えた影響はさまざまな面にわたります。では、そのようなものは、ほかにどのようなものがあるのでしょうか。日常使っている日本語の意外なところにもそれはありそうです。今回のお話では、日本語の歴史をふまえながら、漢字・漢文が日本語に与えた影響について整理してみたいと思います。

会員発表 1名(発表は1人30分以内) ※会員発表後に、簡単な交流会を予定しています。

聴講者定員 ● 50名

参加申込方法 ● 以下のいずれかの方法でお申し込みください。

FAX・郵送…同封の「第14回会員向け研修会 申込用紙」(挨拶文裏面)に必要事項を記入の上お送りください。

Eメール…申込用紙の必要事項(氏名・電話番号・会員番号・住所(送付先に変更がある場合のみ))をメール本文に記載してお送りください。

※応募多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

※抽選の結果については9月上旬までに郵便もしくはEメールにてお知らせします。

申込締切日 ● 平成27年8月30日(日)(協会必着)

研修会にてご自身の研究を発表される会員を募集します!

ご自身の日ごろの漢字学習・研究の成果を発表しませんか?(発表時間は30分以内です。)

発表希望者は、同封の「第14回会員向け研修会 申込用紙」の発表希望者の項目にチェックし、発表したい内容の要旨(A4用紙1枚以内)を添付してFAXもしくは郵送でお送りください。Eメールによるお申し込みの場合は、要旨を添付ファイルでお送りください。希望者多数の場合はこちらで選考させていただき、その結果は9月上旬までにお知らせします。

新潟漢字同好会

9月例会・学習会

- 日時 ● 平成27年9月13日(日) 10時～12時
 場所 ● 高齢者センター「けさじろ」長岡市
 演題 ● 「漢検対策勉強法」講演
 講師 ● 山本安幸氏
 申込締切日 ● 平成27年9月5日
 聴講料 ● 無料
 事務局 ● 太田
 お問い合わせ ● 090・8640・8761

石川漢字友の会

平成27年9月例会・講演会

- 日時 ● 平成27年9月27日(日) 13時30分～15時
 演題 ● 『石碑は語る金沢の歴史と文化』
 講師 ● 三田良信氏
 場所 ● 〒920・0919 金沢市南町2・1
 北國新聞会館10階108教室
 聴講料 ● 無料
 奈良研修旅行(金沢発着貸切バス、1泊2日)
 日時 ● 平成27年11月4日(水)～5日(木)
 行き先 ● 長谷寺、奈良国立博物館(第67回正倉院展観賞)、法隆寺、念仏寺、他
 参加費 ● 五万円程度

申込方法 ● ハガキ、FAX、またはEメールでお申込みください。
 (電話での連絡は、ご遠慮願います。)

お問い合わせ ● 〒921・8036 金沢市弥生2・13・6
 事務局長…宮前外彌旺
 FAX ● 076・241・7617
 Eメール ishikawa-kanji@pos.nsk.ne.jp

会員通信への 投稿募集中!

ご感想・ご投稿をお寄せ頂いた方から3名
漢検オリジナル
図書カードを
プレゼント!!

会員通信を充実させるため、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。

● **常時募集** 掲載したしかねる場合もございます

一級に初めて合格しました!

この一年で、最難関の一級に初めて合格した方の喜びの声と合格のポイントを紹介します。

以下の項目に沿って原稿をお書きください。

項目 ● ①いつ合格したか

②何回目の挑戦での合格だったか

③合格に向けて工夫したこと(勉強方法等、励みになったこと)

④合格したときの気持ち・感想

⑤今後の目標

対象 ● 平成26年度第2回(10月)～平成27年度第1回(6月)の検定で初めて一級に合格された方

字数 ● 項目①～⑤までで500字以内

漢字・日本語に関するお薦めの書籍紹介

書名、著者名、出版社名、発行年を明記して、お薦めの理由を250字以内にとめてお送りください。

投稿方法

原稿とともに会員番号、氏名(ペンネームで掲載希望の場合はペンネームも添えること)、電話番号を明記し、郵便・FAX・Eメールでお送りください。

※Eメールの場合は原稿書式を「Microsoft Word」もしくは「-太郎」とし、添付ファイルでお送りください。

締切日

2015年9月30日(水) (協会必着)

投稿先

郵送 〒600-8585
京都市下京区烏丸通松原下五条烏丸町398
公益財団法人 日本漢字能力検定協会
漢検生涯学習ネットワーク担当

FAX 075-352-8310

Eメール lifelong@kanken.or.jp

すべての投稿を掲載できるわけではありません。原稿はこちらで一部割愛・校正させていただきます。

「漢字同好会メンバー・仲間」募集板

「漢字同好会のメンバーを集めたいのだが、どうすればいいか分からない」「同じ県内で一緒に勉強できる仲間がいいるかな?」といった悩みをお持ちの方はいらっしゃいませんか? 研修会内の交流会に参加できない会員の皆さまのご要望に応え、同好会メンバーや仲間の募集板を会員通信内に開設します。募集内容や自己紹介などと一緒に、公開してもよい連絡先(ペンネーム可)を明記の上、お送りください。

● 京都府内で漢字の勉強会をしませんか? 一級合格に向けて勉強方法などを共有して高めあえればと思います。

漢検花子 60才 京都市在住 Eメール: kanken-hanakou@xxx.jp

※掲載しても差し支えないが投稿内容を必ずご確認の上、お送りください。

漢字に関するパズル・クイズ

子供からお年寄りまで楽しめる面白い漢字パズルを募集します。問題と解答を必ずセットにご投稿ください。(未発表作品に限ります。)

● 漢字クロスワードパズル、子供向け漢字クイズ(学習漢字のみ使用)、難読漢字パズル等

日本漢字能力検定 平成27(2015)年度

個人受検 検定日程

	検定日	申込受付開始日	申込締切日(協会必着)
第2回	平成27年 10月25日(日)	平成27年 7月1日(水)	平成27年 9月26日(土)
		※ただし、書店での申込受付は平成27年9月24日(木)まで 書店での支払い後、願書の郵送は平成27年9月26日(土)協会必着	
第3回	平成28年 2月 7日(日)	平成27年 11月1日(日)	平成28年 1月 7日(木)
		※ただし、書店での申込受付は平成28年1月4日(月)まで 書店での支払い後、願書の郵送は平成28年1月7日(木)協会必着	

● 申込締切日(協会必着)を厳守してください。

● 申込締切日以後に願書が到着した場合や、検定料の支払期限が過ぎた場合は受け付けできません。



公益財団法人 **日本漢字能力検定協会**

本部 〒600-8585 京都市下京区烏丸通松原下五条烏丸町398
※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。無断転載・コピー不可。

インターネットで漢検情報を!! 漢検
<http://www.kanken.or.jp/>

フリーコール **0120-509-315**

月～金9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)
※検定日とその前日にある土・日は窓口を開設
※検定日・申込締切日は9:00～18:00

